

## 東京大学における中国語資料の遡及入力

### 1. 中国書入力実施の背景

平成 10 年 10 月	「中国語資料の取扱い(案)」
平成 11 年 12 月	「目録情報の基準 第 4 版」
平成 12 年 1 月	多言語対応目録システムの運用開始
平成 12 年 4 月	京都大学、東京大学に中国書入力のための予算配分 中国語資料の初期データベース作成

### 2. 入力方法

端末からの入力

総合図書館、文学部図書室、東洋文化研究所図書室で実施

現物による入力

2 万冊を入力予定

東洋文化研究所「現代中国書データベース」の変換

約 4 万 3 千件のデータのうち、2 万件を総合目録 DB へ反映

### 3. 準備

クライアントシステムの検討

現図書館システムでは中国書入力ができないため、中国書入力のためのシステムを検討  
国立情報学研究所開発の「多言語対応 WebUIP」を利用

システム利用のための用意

Windows2000 対応のパソコンを計 7 台購入(配分された予算による)

HUB、ケーブル、電源などの環境、および IP アドレス、目録業務用 ID などの準備(各部局)

遡及入力要員の確保

週 30 時間雇用の職員 6 名が必要と算出 7 名採用(30 時間×6 人分の作業)

マニュアル

「東京大学中国語図書入力のための手引き」1995

辞書等参考資料の整備

目録規則、中国語のヨミ、地名等の根拠となる参考資料の準備

### 4. 実際の作業

国立情報学研究所、京都大学、東京大学の話し合い  
学内部局担当者会での調整・確認

#### ・ 作業目的

TR、PUB フィールドを情報源にある字体で入力する  
既存データにおける JIS コード漢字の修正も含む

- ・ 入力対象資料：中国語資料  
辛亥革命以降に発行された中国語で書かれた図書
- ・ 最低入力基準：TTL、TXTL、TR、PUB、PTBL  
ALのリンク付けは慣れてから
- ・ 校閲  
各部局で自館入力データの校閲を行う

#### テスト

- ・ 接続
- ・ 操作のテスト
- ・ 研修用のテキスト作成  
クライアントシステムを使って入力するための作業手順を解説

#### 研修

各図書館・室の担当職員、遡及入力要員が参加

#### 実作業

- ・ OPAC へのデータ格納  
入力データの OPAC への格納を確認  
UCS コードで入力した文字は U\*\*\*\* に置換え  
その他のヨミ（ピンイン）は落とされる

#### [ OPAC 表示例 ]

書名/著者 : 書劍恩仇録 / 金庸著 版: 二版

出版 : 臺北: 遠流, [1991]

形態 : 2冊 ; 22cm

シリーズ等 : (金庸作品集 / 金庸著 ; 1-2)

他の書名(OH): Book and sword, gratitude and revenge

注記 1 : 出版年は、奥付の国立中央図書館出版品預行編目資料による

注記 2 : "本書由 U67E5 良 U93DE 先生授權遠流出版公司在臺灣出版"

ISBN: 9573210193

- ・ メーリングリストの作成など  
国立情報学研究所、京都大学、東京大学の担当者用メーリングリスト  
東京大学の担当者用（入力要員も含む）メーリングリスト  
中国書入力のためのホームページを立ち上げ
- ・ レコード調整  
漢字の置換えの間違い、ヨミの違い  
  
「版」と「刷」の違い

#### 5. 問題点 課題

書誌の修正に関して  
入力方法について  
入力基準、マニュアルの整備など

以上